

行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	浄化槽整備推進費		事業開始年度	平成16年度		作成責任者
担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室		浄化槽推進室長 樽林 茂夫
会計区分	一般会計		上位政策	廃棄物・リサイクル対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	廃棄物処理施設整備計画(平成20年3月閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	浄化槽は下水道と同様の処理能力を有するオンサイト型の処理施設であり、地方の人口分散地域では効率的な整備が可能なおものである。このような浄化槽の機能や特長について、自治体関係者(首長、議員等)などへの理解を深める事業を行うことにより、自治体での浄化槽の整備推進を図ることとし、健全な水環境を確保する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	市町村の政策決定に携わる市町村長、市町村議会議員並びに浄化槽等行政関係者を対象として、経済的・効率的な汚水処理施設である浄化槽の特長や地域の実情にあった汚水処理施設の整備手法の選択に関する説明会を開催する(浄化槽シンポジウム)。また、NPOとの連携により浄化槽に関する情報を提供・共有することによりネットワークの形成を促進する(浄化槽フォーラム)。					
実施状況	平成21年度は市町村長等に対する説明会(浄化槽シンポジウム)を3箇所(群馬県、福岡県、宮崎県)で開催した。また、浄化槽フォーラムに係る会合を1回開催した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	45	50	52	52	
	執行額	39	32	3		
	執行率	88%	64%	6%		
	総事業費(執行ベース)	39	32	3		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	発注前において自治体関係者等との調整を行い、その概要を整理。その上で業務実施段階で請負者と綿密に打合せを行い、業務の具体的な実施内容を把握している。また、環境省関係者が直接事業に参加し、執行状況を確認している。				
	見直しの 余地	当事業は、市町村関係者や住民等における浄化槽に対する基礎的理解や意識が十分でないことから、浄化槽の整備推進を行う上で自治体関係者等に対し実施してきたが、前身の浄化槽タウンミーティング事業(平成16年度～)から本年度で既に7年実施してきたところである。その間、市町村における浄化槽整備への機運が高まってきており、汚水処理整備計画の見直し等を行う事例も数多く現れてきている。このため、一定の理解や認識は進んだと思われるが、更に浄化槽整備事業を実施している市町村では、整備上の課題(合併浄化槽への転換方策等)など浄化槽を巡る諸課題の取り組みに関する情報交換等の要望が強いところである。このため、当該事業を各地域での整備の実情に合わせ、浄化槽整備推進の成果により繋がる事業内容として見直しを図る。 なお、平成21年度は一部事業の調整がつかず未実施となったため執行率が低かったものであるが、引き続き競争的な契約方式により効率的に実施していく。				
化予 算 監 視 の 効 率						
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) 単位:百万円					
	平成19年度	平成20年度	平成21年度			
	0	0	0			

環境省
3百万円
業務内容の企画、実施状況の監督

【一般競争入札】

A. (株)エム・プラスコンベンション
2百万円
市町村長等に対する説明会の開催事務

【少額随意契約】

B. (財)日本環境整備教育センター
1百万円
浄化槽フォーラムに係る会合の開催事務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.(株)エム・プラスコンベンション			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	説明会開催事務費	2			
計		2	計		0
B.(財)日本環境整備教育センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	会合開催事務費	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0